**「札幌市立小中学校適正配置審議会」市民委員を募集します**

札幌市の児童生徒数は、昭和60年に約20万５千人となりピークを迎えましたが、少子化の影響により平成28年には約13万人となり、約37％減少しています。一方で、学校数は平成12～13年に小中学校合わせて307校となりピークを迎えましたが、平成28年には298校となっており約3％しか減少していません。

１校あたりの児童生徒数が減少し、学校の小規模化が進むと「クラス替えができない」「子どもの人間関係や役割が固定化する」など様々な課題もあるため、教育委員会では平成19 年12月に「札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する基本方針」（以下「基本方針」という。）を定め、以降、市内の各地域で学校規模適正化の取組を進めています。

しかしながら、小規模な学校は今後ますます増加する見込みであるほか、学校が地域コミュニティの拠点施設と位置付けられるなど、学校を取り巻く環境は平成19年当時と大きく変わっています。

このような認識を踏まえ、基本方針の見直しについて検討する「札幌市立小中学校適正配置審議会」に市民委員としてご参加いただける方を募集いたします。

**応募資格（次のすべてに該当する方）**

* 札幌市内に居住する満18歳以上の方（高校生を除く）
* 平成29年(2017年)５月から半年程の期間中に5回程、毎回２時間程の会議に参加できる方（会議は平日の日中、市内中心部での開催を考えていますが、具体的な開催日時・場所等はその都度お知らせします。）

**募集人数**

* ２名程度

**報酬**

* １回の出席につき12,500円（源泉徴収後9,990円）をお支払いします。

**応募方法**

* 応募用紙（裏面のとおり。コピー可）を下記応募先へお送りいただくか、直接お持ちください。
* ご提出いただいた応募用紙はお返ししませんので、ご了承願います。

（個人情報に関しては適切に管理し、選考の目的以外では利用しません。）

**締切り**

* 平成29年4月2４日（月曜日）必着

**選考**

* 応募用紙に記載された内容により選考を行います。選考に当たっては、性別や年齢などのバランスも考慮させていただきます。選考の結果は、別途応募者全員へ個別にお知らせいたします。

**応募先（問い合わせ先）**

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）

〒060-0002　札幌市中央区北２条西２丁目　ＳＴＶ北２条ビル

電　話：011-211-3836　　ＦＡＸ：011-211-3837

Ｅ－mail ：gakkokibo@city.sapporo.jp

※お問い合わせは、月曜日から金曜日の8時45分から17時15分までにお願いします

さっぽろ市

00-000-00-000

00-0-000

****

参考

札幌市の児童生徒数と学校数の推移

(学校数：校)

Ｈ12～13学校数

**307校**(ピーク)

小学校209校

中学校98校

(児童生徒数：人)

S60児童生徒数

**約20.5万人**(ピーク)

児童約13.7万人

生徒約6.8万人

Ｈ28学校数

**298校**

小学校201校

中学校97校

Ｈ28児童生徒数

**約13.1万人**

児童約8.7万人

生徒約4.4万人

児童生徒数の減少が学校数の減少より著しい。

⇒**年々学校規模は減少。小規模な学校が増加。**

(年度)

S

※　分校、特別支援学校等を除く

札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する基本方針の概要

**取組の目的　学校の小規模化による教育面・学校運営面の課題を解消し、子どもたちに望ましい教育環境を提供**

|  |  |
| --- | --- |
| 学校の適正規模 | 小学校:18～24学級(１学年３～４学級)。少なくとも12学級(1学年２学級)以上中学校:12～18学級(１学年４～６学級)。少なくとも6学級(１学年２学級)以上 |
| 学校規模適正化の検討が必要な学校 | 小学校:12学級未満となることが見込まれる学校中学校:6学級未満となることが見込まれる学校 |
| 優先的に検討する学校 | 小学校:６学級未満の学校　又は12学級未満となる見込みで校区が隣接する学校中学校:6学級未満の学校　又は　6学級未満となる見込みで校区が隣接する学校 |
| 通学区域 | 最低限の学校規模の確保を前提に、徒歩で通える範囲（小学校２km、中学校３km）が基本。ただし、徒歩通学が困難な場合は、路線バス等の活用も検討 |
| 地域選定プラン | 対象地域は、概ね５年ごとに定める「地域選定プラン」で選定。選定にあたっては、地域の一体性、道路・河川などの地理的条件、通学の利便性や安全性等を考慮 |
| 保護者・地域等との連携協力 | 検討地域ごとに、保護者や地域の方々などで構成する「小規模校検討委員会」で取組を進めるための諸課題（統合の是非、場所、時期、通学等）を検討 |
| 既存の学校施設の有効活用 | 統合の際には、既存の学校施設を可能な限り有効活用するなど、全市的に行っている公共施設長寿命化の取組を考慮 |

＜参考URL＞

◆札幌市立小中学校の学校規模の適正化の推進

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/tekisei1.html>

◆学校規模適正化に関する基本方針等

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/hoshintou.html>

**「札幌市立小中学校適正配置審議会」公募委員　応募用紙**

【平成2９年　月　日現在】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （ふりがな）お名前 | （　　　　　　　　　　　　　　）　　　　　　　　　　 | 生年月日 | 　　　　年　　月　　日（　　　　歳） |
| 性 別 | 男　・　女 |
| ご住所 | 〒 |
| 連絡先 | 電話：（　　　　）　　　－　　　　　　E-Mail：※日中に都合がつく連絡先をご記載ください。 |
| ご職業（勤務先等） |  |
| １　応募した動機についてお書きください。 |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| ２　教育に関連する活動（地域の学校支援活動、学校のボランティアなど）の経験があれば、お書きください。 |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| ３　「子どもたちにとって望ましい学校の規模」をテーマにあなたのお考えを自由にお書きください。※４００字～８００字程度でお書きください。 |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

※記載欄が不足する場合は別紙でも結構です。